



日本二輪車普及安全協会
2022 アンバサダー 梅本まどかの

安全運転No.1

※記事中の写真はソーシャルディスタンスに配慮し、密を避けた状態で撮影したものです。

第19回

大事な安全装備！ ヘルメットについて 学んできました！

バイクに乗る上で、最も大切な安全装備であるヘルメット。今回はアライヘルメットさんにおじゃまして、ヘルメットについてのさまざまな知識や正しいかぶり方などをいろいろ学んできました。皆さんもぜひ参考にしてみてください！



ヘルメットは
正しくかぶって
安心して使いましょー！

今回はアライヘルメットさんでヘルメットの正しいかぶり方や保管方法など、意外と知らない知識を教えてくださいました！ヘルメットをかぶる時に「広げて頭が入りやすくする事」は分かっていても、どうしたらいいかは知らなかったし、実際にちゃんとかぶれていない人もいますよね。

今回は、なぜヘルメットを正しくかぶる必要があるのか、ヘルメットがどんな構造なのかなどをわかりやすく教えて頂きました。ヘルメットの構造を初めて見て、いろいろな工夫や想いが詰まっているのを感じました。また、内装やシールドの種類も沢山あって、それを上手に使い分ける事によって凄く快適に安全に走れることも知りました。ヘルメットをキレイに保つための洗い方なども聞く事ができ、とても勉強になりました。

あと！ヘルメットをかぶせた人頭模型を落とさせる性能試験も見学したのですが、想像以上の衝撃とダメージを頭部に受ける事に驚きました。でも安全のためにしっかりテストされている事も分かってよかったです。

アライヘルメットさんにはモーター

ヘルメットの正しいかぶり方を学ぼう!

1 かぶる時は額から



上からや、後ろからかぶる人もいますが、アライヘルメットさんでは、ヘルメットは額からかぶることを推奨しています。これにより前髪が垂れ下がったり、耳たぶが折れたりしにくいんだそうです!

2 深く、しっかりかぶる



ヘルメットは天井の内装パッドが頭に触れるまで、しっかりかぶりましょう。この際、あごひもを下に引くとかぶりやすいですよ。位置を微調整したあとは、あごひもを締めれば完了です!

3 あごひもはしっかり締める



ヘルメットが脱げてしまわないように、あごひもはきちんと締めましょう。目安としては、のどにあごひもが当たるところまで締めてみて、のどとあごひもの間に指1本が入るくらいがベストです!

4

着脱の際は
内装を広げて



ヘルメットをかぶる時や脱ぐときは、ヘルメットの開口を左右に広げてあげるとよりスムーズです。コツとしては、写真のように左右のあごひもをしっかり持って広げてあげるといいですよ!



実際にヘルメットに衝撃を与える性能試験も拝見。落下したヘルメットがぶつかる光景を見て、これが実際の事故だと思うと、ちょっと怖かったです…。



今回はヘルメットの構造も学んできました。帽体やスチロール、内装、それぞれにアライヘルメット独自の工夫が詰まっていた。詳しくは動画をお楽しみに!

今回お世話になった、アライヘルメットさんの副社長、新井章仁さんと、インタビューに答えてくださった上 幸一さん。ためになるお話をたくさん聞かせてくださいました!



今回収録の動画は11月公開予定!

日本二輪車普及安全協会のYoutubeチャンネルでは、安全・安心にバイクライフを楽しむための様々なコンテンツを発信中! 今回収録したヘルメットの知識に関する動画は11月に公開予定! ぜひ見てください!

梅本まどか
アンバサダー活動報告



日本二輪車普及安全協会
Youtubeチャンネル



「ジャパンライダーズ」の
ツイッターもチェック!



スポーツで活躍された方のヘルメットが沢山飾ってありましたが、どれも選手の頭を守り抜いたもの。レースで使用するものも、一般に売られている物と同じなんだそうです。バイクに乗る上でも大切なヘルメット。きちんと保管してしっかりと被り、バイクライフを楽しもうと改めて思いました。みなさん、動画もお楽しみに♪